

なるほど、なつとく



お仏壇の飾り方


保存版

じょう ど しん しゅう ほん がん じ は

浄土真宗本願寺派

入門 浄土真宗本願寺派

浄土真宗を開いたのは親鸞といって法然のお弟子さんだった方なのだよ



浄土真宗を開くまで、親鸞は越後から関東地方の各地を回って法然の教えを広げていました。親鸞が越後に行ったのは、法然の流罪にともなう、越後に流されたからです。そして、この布教の間に法然の教えをおしすすめ、親鸞自身の考えを確立したのです。

親鸞の教えは自分の修行や知識ではなくただ仏の力に頼ることだけが救われる道である。だから、念仏を唱えることではなく阿彌陀仏を信じさえすればどんなに罪深い人でも救われるということなのだよ



そしてまた善行の底にひそむ打算と名譽欲にかられている人は阿彌陀如来の救いからは遠いとも説いているのだね

それじゃあ悪いことをしたほうがいいのですか？



いや、いやそういうことではないのだよ

自分の力で救われるなどと思っはけません阿彌陀さまにすべてをまかせなさい、とおっしゃっているのだよ

なるほどね



これから説明する
お仏壇の正しい飾り方の
前にまず、
開祖と
教義について
お話ししましょう。



宗 紋



本願寺藤紋



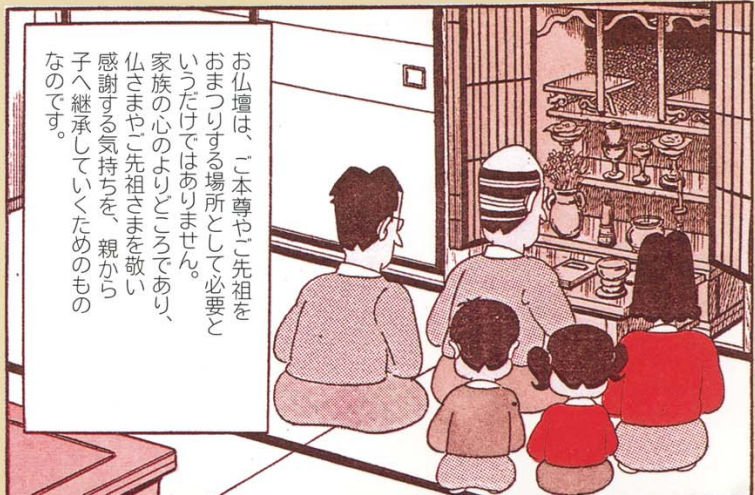
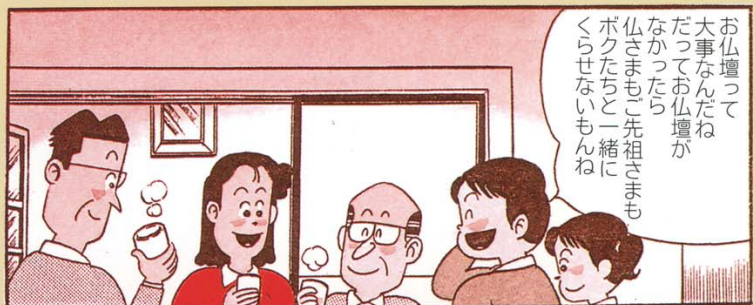
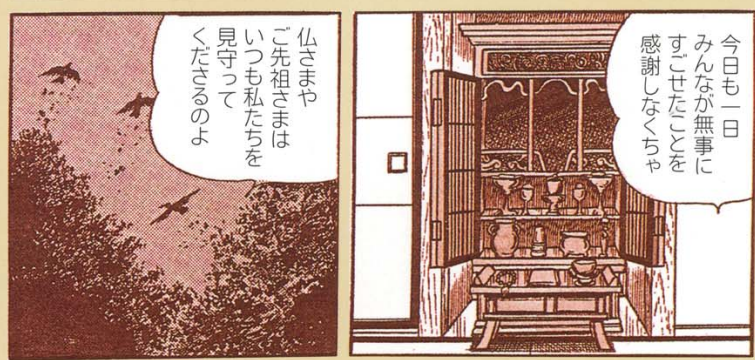
五七の桐紋

- ◆開祖
見真大師 親鸞聖人 (1173~1262)
- ◆唱名
南無阿彌陀仏 (なむあみだぶつ)
- ◆本山
本願寺 (西本願寺)
京都市下京区堀川通花屋町下る
- ◆教義
南無阿彌陀仏のみ教えを信じ、必ず仏にならせていただく身のしあわせを喜び、つねに報恩のおもいから、世のため人のために生きる教えです。
- ◆教典
仏説無量寿経 (大経)
仏説観無量寿経 (観経)
仏説阿彌陀経 (小経)
- ◆日常のおつとめ
正信偈・和讃・御文章・領解文

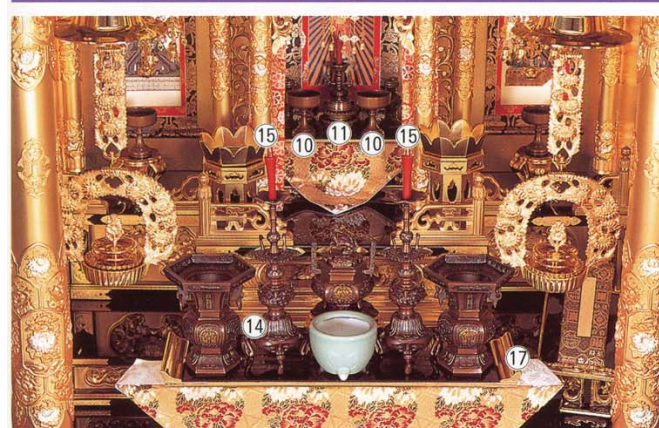
仏具の正しいかざりかた (お荘厳) です。

お仏壇は家族の心のよりどころ

お仏壇のある暮らし - 吉田家の場合



上卓と前卓



あなたのお家のお内仏は正しい飾り方がなされていますか
右の写真と照らし合せて正しい飾り方を心がけましょう。



- ①ご本尊 (ごほんぞん)
真宗のご本尊は阿弥陀如来です。
- ②お脇掛 (おわきがけ)
ご本尊に向かって右側に親鸞聖人のご影像、又は十字名号をおかけします。
- ③お脇掛 (おわきがけ)
ご本尊に向かって左側に蓮如上人のご影像、又は九字名号をおかけします。
- ④金灯籠 (かなとうろう)
お宮殿の両側に一対つるし、ご本尊のお姿を明るく照らすために用います。
- ⑤隅瓔珞・宝鐸 (すみようらく・ほうたく)
お宮殿の屋根の隅に吊るします。
- ⑥菊輪灯 (きくりんとう)
朝夕のおつとめの時点灯します。
- ⑦戸帳 (とちょう)
ご本尊の前に吊る金襴製の荘厳具です。
- ⑧華鬘 (けまん)
戸帳の上に飾るものです。
- ⑨上卓 (うわじょく)
ご本尊の前、須弥壇の上に置く卓です。燭台・華瓶・火舎香炉・仏飯器を置きます。

- ⑩仏器 (ぶつき)
お仏飯を盛る器をいいます。朝のおつとめの前にお供えし、正午にはお下げいたしましょう。
- ⑪四具足 (しぐそく)
イ 火舎香炉 (かしゃこうろ)
上卓の中央に置く香炉で、焼香のために用います。向きは足の一本が正面になります。
ロ 華瓶 (けびょう)
浄水を入れる器で上卓の上に一対置き、水を入れしきみをさします。
- ハ 燭台 (しょくだい)
朱の木蟬を立てます。
- ⑫打敷 (うちしき)
前卓と上卓におかけする三角の織物で、お正月・お盆・お彼岸・報恩講・年忌法要などの重い法要の時のみ用います。
- ⑬供筒 (くげ)
お華束 (小餅) をのせるもので、普段は用いず、重い法要の時のみ用います。
- ⑭五具足 (ごぐそく)
燭台・花瓶・香炉のことを五具足と呼び、原則としてお内仏の中で使用するものです。普段は三具足にしておく。
- イ 燭台 (しょくだい)
ローソク立のこです。正式には一対でお飾りします。ローソクの光は、如来の智慧の光を象徴するものです。ローソクの光に、すべての人の心の闇を照らし出し、救済しようとはたらきかけておられる如来の心を感じたいものです。
- ロ 花瓶 (かひん)
ご本尊が隠れないように置きます。生花を用い造花は使用しません。
- ハ 土香炉 (どこうろ)
陶器の香炉です。向きは足の一本が正面になります。線香を香炉の大きさに応じて数本に折り、火の付いた方を左に向け灰の上に横にして置きます。

- ⑮木蟬 (もくろ))
平素、燭台に立てる木製(朱塗り)のローソクです。
- ⑯法名軸 (ほうみょうじく)
法名軸はお内仏(お仏壇)の左右側面におかけします。
*真宗では正式には法名軸を用い、位牌を使用することはいたしません。
- ⑰前卓 (まえじょく)
須弥壇の前に置く卓です。五具足(三具足)を置きます。
- ⑱見台・過去帳 (けんたい・かちょう)
過去帳には亡くなられた方の法名・亡くなった年月日を記します。
- ⑲香盒 (こうごう)
お香を入れる物です。
- ⑳鈴 (りん)
おつとめをする時に用いる「かね」を鈴といいます。
*おつとめをする時以外は一切打ちません。
- ㉑撥 (ばち)
鈴を打つ棒で、おつとめの時以外は鈴の中に正面を向けておきます。
- ㉒鈴台 (りんたい)
鈴を置く台を鈴台といいます。
- ㉓和讃箱 (わさんばこ)
おつとめに使う「正信偈」と「和讃」を入れておく箱です。
- ㉔和讃卓 (わさんじょく)
和讃箱をのせる卓です。
- ㉕御文章箱 (ごぶんしょうばこ)
御文章を入れておく箱です。
- ㉖御文章台 (ごぶんしょうだい)
御文章箱をのせる台です。

お仏壇の飾り方は、お仏壇の形式・サイズ・お仏具の種類及び地方の習慣により異なる事があります。必ず当店にお問合せ下さい。

これだけは知っておきたい 浄土真宗本願寺派のQ&A

日常礼拝の
しかたを
教えてください。



①朝起きたら

お仏壇を掃除し、
お灯明をともし線
香や仏飯をお供え
します。線香は立
てずに、香炉の大
きさに応じて一本
を数本に折って横
にして供えます。



※リンを叩くのは、勤行のときのみです。お仏壇にお線香をあげて合掌礼拝するだけのときは、リンを鳴らさないようにします。

②合掌・礼拝

姿勢を正して合掌
礼拝します。
「南無阿弥陀仏」
の念仏を、数回、
唱えます。



③就寝前に

寝る前にも合掌礼
拝し、火元を確認
して扉を閉じます。



お数珠とその
かけ方について
教えてください。



念珠は大切な法具ですから、家族ひとりひとりが、かならず持ちましょう。自分にふさわしい、あまり粗末でない品をえらぶことが大切です。

●浄土真宗本願寺派の数珠



●かけ方

数珠は、数珠をくったり、もみ合わせたり
しません。



年中行事は
どんなものが
ありますか



●修正会・元旦会

新年を祝い、仏恩報謝の思いを持っておつとめする。

●御正忌報恩講（一月九日～十六日）

親鸞聖人のご命日にあたって、聖人のご恩を感謝する最も大切な法要。

●彼岸会

春秋の二季、春分・秋分の日を中心に行われる法要。

●宗祖降誕会（五月二十一日）

七月または八月十三日から十六日まで。父母や先祖を追慕し、亡き人々のご恩に感謝します。

●除夜会（十二月三十一日）

一年の行事の締めくくりとしておつとめする。

◆全国優良仏壇専門店会加盟店◆

〈仏壇、仏具、神具、寺院用具、墓石〉



創業百余年
佛壇の升谷

本店 秋田市大町一丁目4-37
(仏壇・寺院用具) 電話 018(824)3181
石材部 秋田市寺内神屋敷70
(墓石展示場) 電話 018(863)8284